

駐車場あり WEBサイトあり
Eメールアドレス プレゼントあり

マストトピックス

ハンドブック「海をまなぶつく」完成

古里の海身近に感じて

宮城の児童の体験基に作成

海の魅力を再発見してもらおうと、宮城県内の小学生がハンドブック「海をまなぶつく」作りに取り組み、このほど完成した。小学生が海について学び、体験した内容を基に、海の楽しさや安全な遊び方などを掲載している。8月4日に七ヶ浜町の葛蒲田海水浴場で開かれたハンドブック贈呈式で、お披露目された。

海に親しみ海を学ぶ

ハンドブックの作成は、日本財団などが推進している「海と日本プロジェクト」の一環。6月に七ヶ浜町で行われた、「海と日本プロジェクト in みやぎ」によるイベント「みやぎの海とつながり隊！七ヶ浜編」に参加した県内の児童18名が海に関して学び、体験したことを基にまとめられた。イベントで児童が体験した内容は①県水産技術総合センター種苗生産施設でのアワビなどの栽培漁業技術見学②海産物を使った調理③ライフセーバーによる海の安全についての講義④葛蒲田海水浴場での砂浜散策とごみ拾いなど。

海に親しんだ児童はそれぞれの体験を振り返って感想をまとめ、海の生き物を色ペンで描いたり、折り紙で表現したりした。参加した小6の男子は「海の話をとくさん学べて、海は楽しいところだと思いました」と話していた。

沿岸の小学校に配布

ハンドブックは、児童



イベントに参加した児童ら全員で記念撮影



贈呈式では児童代表から七ヶ浜町の寺沢町長(右)にハンドブックが手渡された



児童のイラストが描かれたハンドブック「海をまなぶつく」



イベントで海に親しむ各種体験を終えた後、海の生き物を描く児童

カラフルな仕上がり

にも配布された。ハンドブック完成を記念し、8月4日に葛蒲田海水浴場で開催された「SEAVENTURE」(セブンビーチフェスティバル)で贈呈式が行われた。児童代表からハンドブックを受け取った七ヶ浜町の寺沢町長は「カラフルで、すてきな仕上がりですね。まさに海とつながるパスポート的なガイドブック

参加者の声



市町 ゆめのさん (利府町・小学4年)

「海のことをいろいろ勉強し、海が好きになりました。貝殻やシーグラスを集めて物作りをしています」



宮崎 菜さん (泉区・小学5年)

「海をまなぶつくに自分が描いた絵が載っているのがうれしいです。今まで以上に海が好きになりました」



金 弘晃君 (登米市・小学6年)

「海の生き物を育てている施設を見学して楽しかったです。海をまなぶつくはみんなが活動して作った宝物です」

問/海と日本プロジェクト in みやぎ事務局 (TBC東北放送内) 022-229-1111 <http://miyagi.uminohi.jp/>

海のレポートを募集

海と日本プロジェクト in みやぎは、「宮城の海とつながり隊!レポートコンテスト」の作品を募集している。宮城の海を調べてレポートにまとめ、応募しよう。締め切りは9月30日(日)。応募作品は11月3日(祝)に太白区で行われる「秋の八木山フェスタ」で展示する。詳細はハンドブックかWEBサイトで。http://www.tbc-sendai.co.jp/03tv/uml_contest2018

ク。じっくり見て楽しみます」と語った。ハンドブックはフェスティバル来場者にも配布された。関連行事として会場では、貝殻を使ったワークショップが開かれ、親子連れらがフォトフレーム作りに挑戦した。海と日本プロジェクト in みやぎ事務局の田代久幸さんは「東日本大震災から7年以上が経過しましたが、宮城に住んでいながら海に行ったことがない子どもが多いと感じています。このハンドブックを、古里の海に目を向けるきっかけにしたい」と話している。

YAMAHA ヤマハミュージック 仙台店
大感謝祭 2018 秋
2018年9/1[土]~9/24[月(振替休日)]

「大人の秋」体験モニタープラン
史馬車
前沢牛のテイナ
平泉「中尊寺」
朝はお坊さんと一緒に